

2 学年 SS 発展探究課題研究指導報告

◇期 日:令和3年6月18日(金) 5・6限

◇場 所:本校各実験室、ゼミ室、図書館等

◇参加者:2年探究科学科 生徒79名

今回の課題研究指導では、富山大学から多くの先生方にお越しいただき、私たちがしたいテーマや課題について説明した後、指導・助言をいただいた。これからの研究に大きく関わる、一つの山場であり、研究者の視点からアドバイスをもらえる貴重な体験であるが、「うまく説明できるだろうか」「自分たちの研究は研究者の目から見たらどのように評価されるのだろうか」という不安もあった。

研究したいテーマを紹介していく過程で、想像していた通り、先生方から厳しい指摘を受けた。指摘の内容は多種多様で、指導後、完全に行き詰ってしまう人や、逆に、突破口が見つかり研究にはずみがついた人など、リアクションも様々だった。

「研究者の視点でアドバイスをしていただき、新たな知見を得られて刺激的だった。ところどころ痛いところを指摘された。アドバイスを糧にこれからも研究に励みたい。」「探究への姿勢がよくなかった。自分たちのしていることに私情や固定概念が含まれすぎていることに気付かされ、一から研究を見直す必要があると思った。自分の考えにとらわれて物事を見ていたら良い研究ができないということを学んだ。」等といった感想が聞かれた。

先生方の厳しさは、我々に実りある研究をしてほしいという願いの表れであるように感じた。今回の指導で得たアドバイスや経験はこれからの研究はもちろん、我々の成長につながることだろう。

探究活動は始まったばかりだ。つまずいた経験も貴重な財産だ。試行錯誤を繰り返し、仲間とともに一つの問題について深めていくことが探究活動の魅力だ。次回の課題研究指導では先生方に良い成果を報告できるよう、これからの研究に励んでいきたい。

最後に、今回お越しいただいた富山大学の先生方には多くのことを学ばせていただきました。心より感謝申し上げます。 (26H 石山 記)

